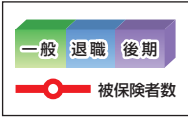
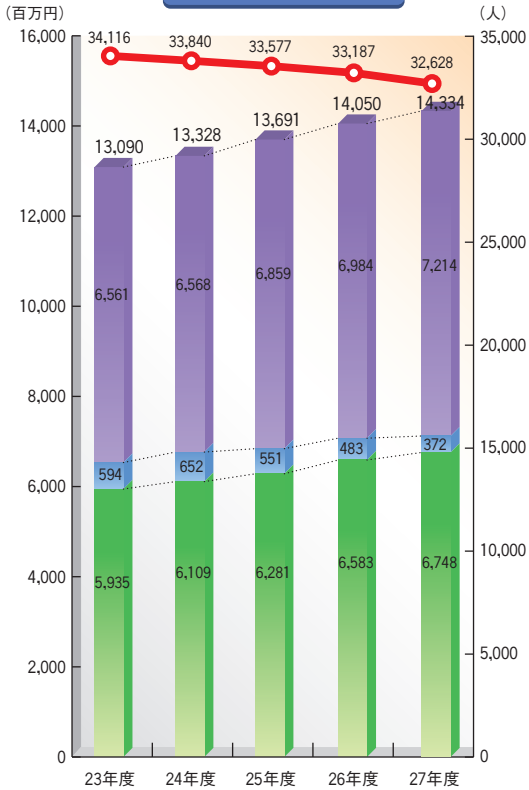


真岡市

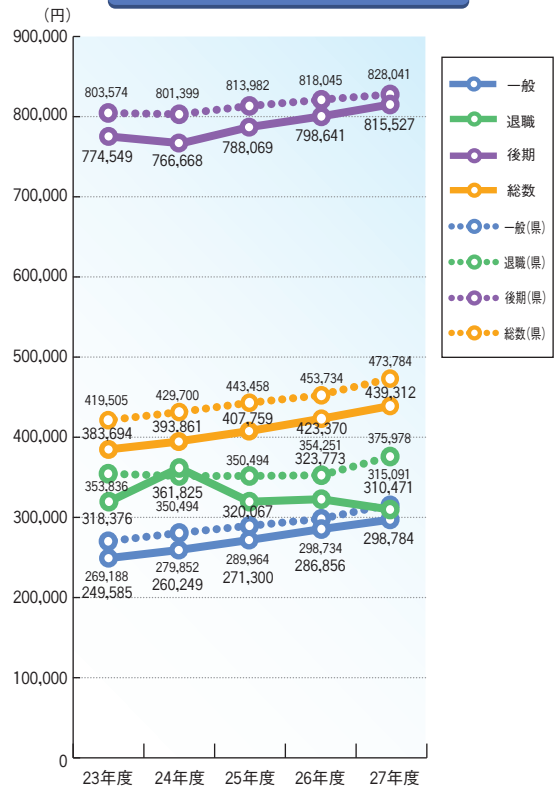
真岡市



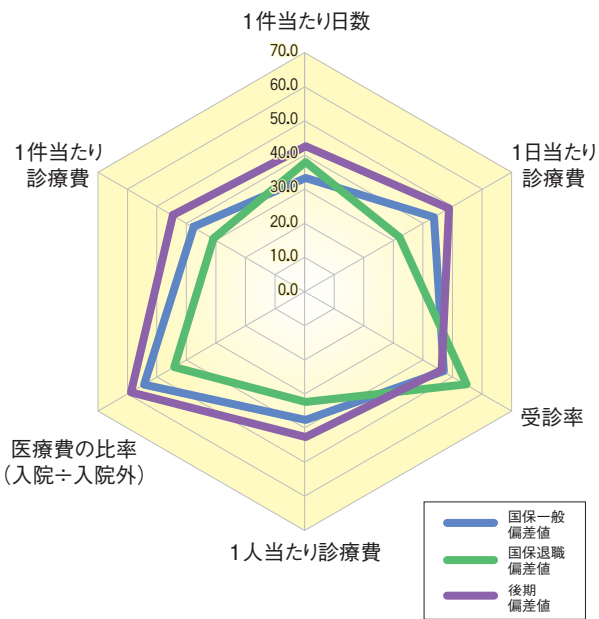
医療費の推移



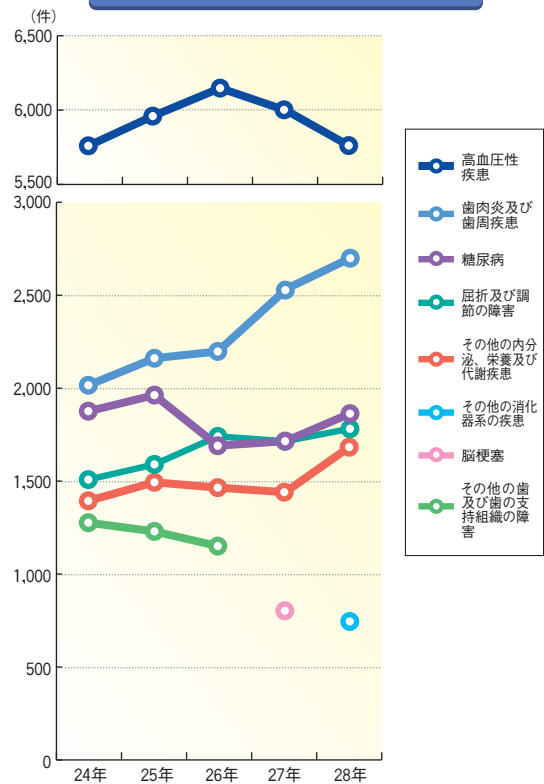
1人当たり医療費の推移



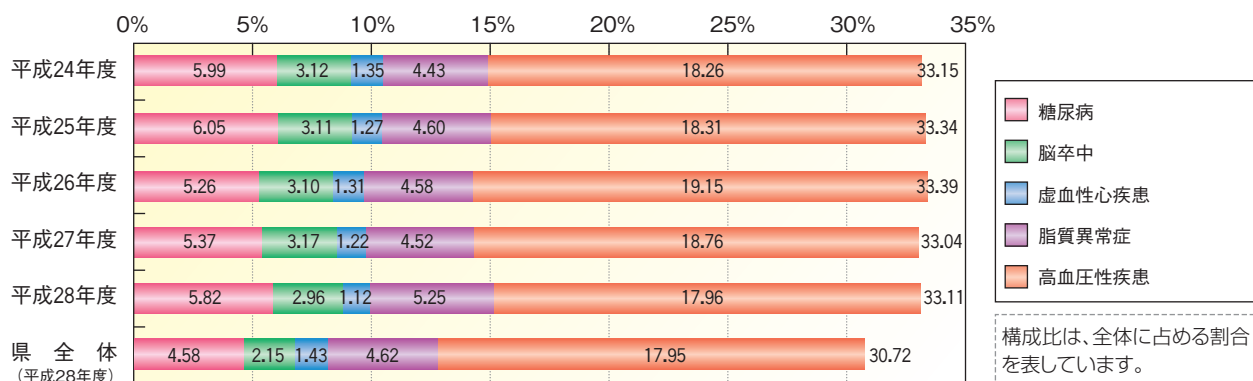
平成27年度 3要素と医療費諸費(県平均との比較)



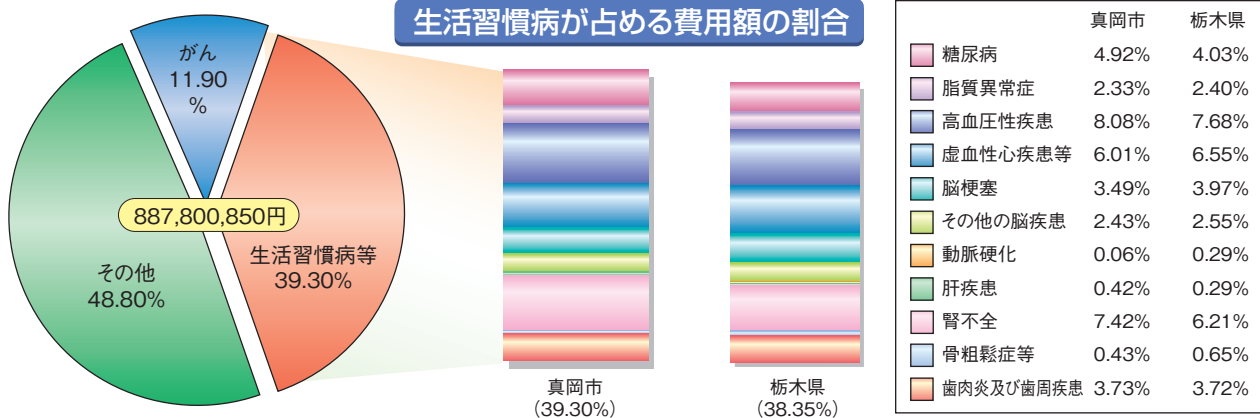
多受診疾病上位6位の推移



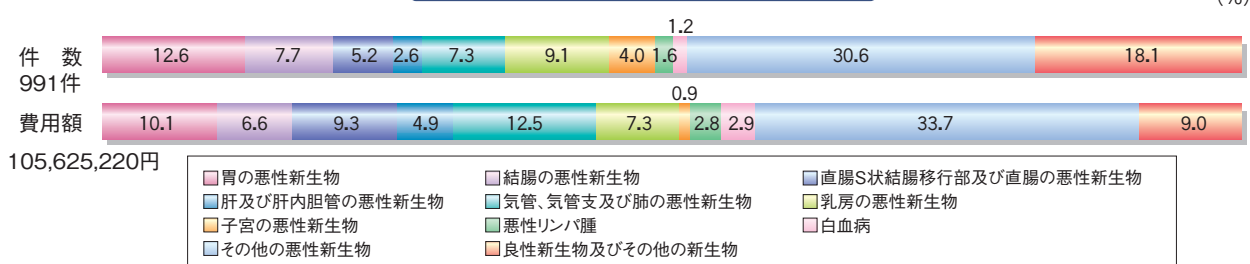
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



真岡市の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成27年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般6,747,729千円(102.5%)、退職371,944千円(77.0%)、後期7,214,220千円(103.3%)で、全体では14,333,893千円(102.0%)と増加している。()は前年度との比較。

平成27年度平均被保険者数は32,628人で、内訳は一般22,584人、退職1,198人、後期8,846人である。前年度と比較すると全体で98.3%と減少している。

また、平成27年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は439,312円(15,942円増)、一般は298,784円(11,928円増)、退職は310,471円(13,302円減)、後期は815,527円(16,886円増)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、国保一般及び後期の医療費の比率と退職の受診率以外の項目は県より低い偏差値となっている。

★疾病の状況

平成28年5月診療分で件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位糖尿病、4位屈折及び調節の障害、5位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、6位その他の消化器系の疾患で、中でも2位の歯肉炎及び歯周疾患近年増加傾向にある。

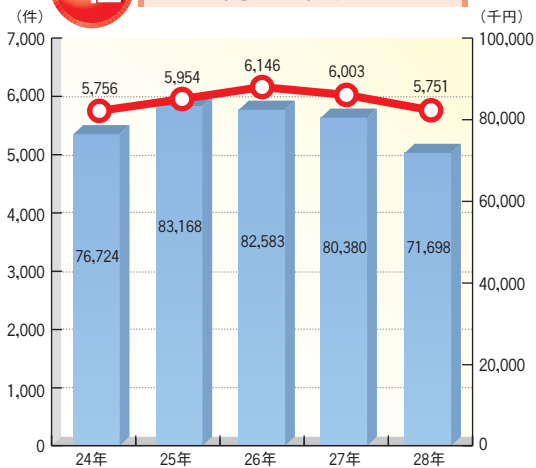
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べ、虚血性心疾患以外の4疾病において高い構成値になっている。また、脂質異常症については過去5年で最も高い構成値となっている。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成28年5月診療分の総費用額が887,800,850円で、がんが11.90%、生活習慣病関連が39.30%を占めている(県全体 がん12.31%、生活習慣病関連38.35%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患8.08%、虚血性心疾患等6.01%、腎不全7.42%、となっている。

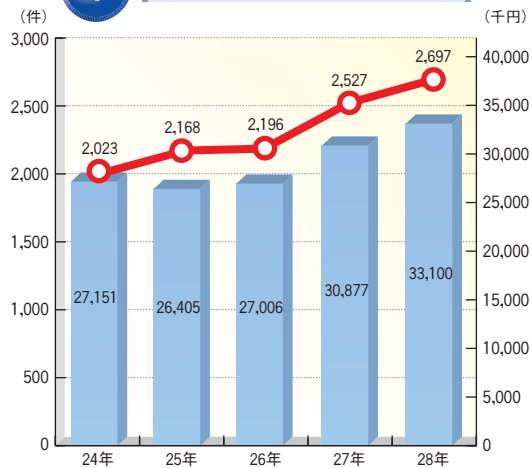
がんの部位別の件数及び費用額の割合は、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では、胃の悪性新生物、費用額では、胃の悪性新生物、気管・気管支及び肺の悪性新生物が高い割合となっている。

多受診疾病 上位6の年次推移

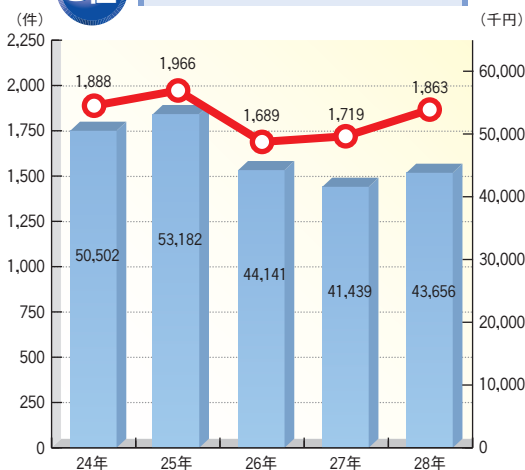
1位 高血圧性疾患



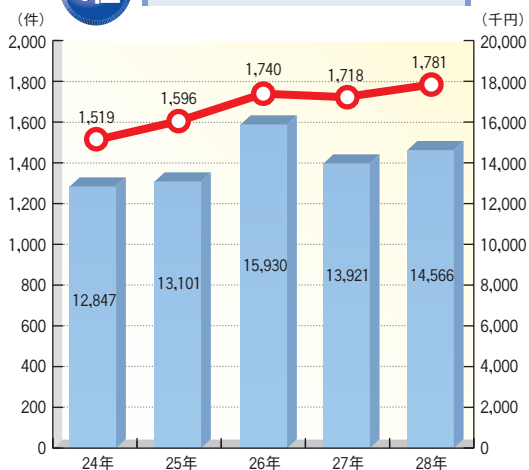
2位 歯肉炎及び歯周疾患



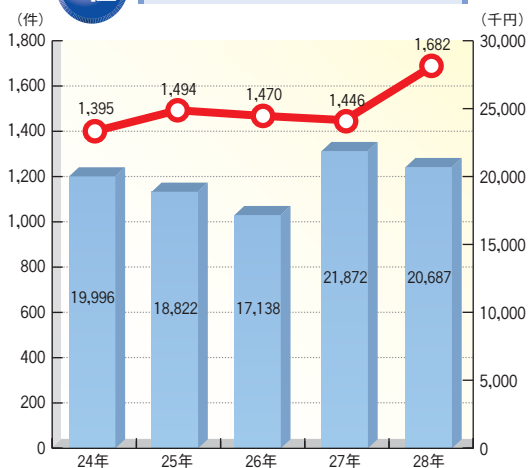
3位 糖尿病



4位 屈折及び調節の障害



5位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



6位 その他の消化器系の疾患

